



Association for the
Promotion of Electric Vehicles
電気自動車普及協議会

電気自動車普及協議会

2013-2014 活動案内

未来の子どもたちに、美しい地球を残すために

この一念から、2010年6月29日、地球環境の保全と持続可能な社会の実現を目指し、電気自動車の普及を促進するための当協議会を設立しました。私たちの子ども、孫、その先の子どもたちの世代が、豊かな自然環境の下で健やかに暮らし続けていくことができるように、次世代に責任をもつ私たちが、今、行動を起こさなければなりません。

ここ数年で大手自動車会社やアメリカのベンチャー企業がEVの完成車を本格的に量産・販売を開始したことから「EV第3の波」ともいわれる動きが見られています。また国内外のベンチャー企業もガソリン自動車から電気自動車への改造を行うEVコンバージョン事業を始めました。しかし車両価格の高止まりと、航続距離の制限により、EVの爆発的な普及には至っておりません。

一方、小型のEVの分野では、昨年国交省から超小型モビリティのガイドラインが発表され、企業や大学等の研究機関も活発に研究開発や普及の為の実証実験を進めています。

一刻も早く世界中で電気自動車がスタンダードカーとなる社会の実現を目指します。ぜひ、多くの皆様のご賛同を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



会長
福武 總一郎

株式会社
ベネッセホールディングス
取締役会長



代表幹事
田嶋 伸博

株式会社
タジマモーターコーポレーション
代表取締役会長



幹事
藤原 洋

株式会社
ブロードバンドタワー
代表取締役会長兼社長CEO



幹事
草加 浩平

東京大学大学院
工学系研究科特任教授



幹事
佐藤 員暢

愛媛県産業技術研究所
EV開発センター長
愛媛大学客員教授
四国EVチャレンジ委員会委員長



幹事
有馬 仁志

dSPACE Japan株式会社
代表取締役社長
横浜スマートコミュニティ代表



幹事
鈴木 高宏

東京大学生産技術研究所
機械・生体系部門/先進モビリティ研究センター准教授
同 大学院情報学環(兼任)
長崎県産業労働部政策監

アドバイザー

館内 端

(自動車評論家)

村沢 義久

(東京大学総長室アドバイザー)

顧問

星 久人

(株式会社ベネッセホールディングス特別顧問)

監査理事

佐藤 祐作

(さとう会計 公認会計士・税理士)





21世紀は、自動車産業の大転換で環境改善の世紀に！

ガソリン車社会の課題



CO₂の約20%超を
自動車産業が排出



発展途上国の
経済発展と人口爆発



大気汚染



地球温暖化

etc...

Change

電気自動車を中心とした
環境車の普及で
“低炭素社会”が実現



2010年6月29日 電気自動車普及協議会 設立

(Association for the Promotion of Electric Vehicles)

～早期に連携し、発信力・実行力を高め、最大の成果を上げることを目指す～



東京大学福武ホールにて設立総会・記者発表。

古川元久内閣官房副長官(当時)にもご臨席いただき、激励メッセージをいただきました。

当協議会が目指すこと

- EV関連の事業や研究、普及活動を行う事業者、研究機関、各種団体をネットワークでつなぐことによって情報共有。
- 個々に行われているコンバージョンEV事業の活動等を支援。
- 既存の自動車メーカーのさらなる発展のために、EV戦略の実現化を推進支援。
- 電気自動車を受け入れる社会の成熟のために、各地で取り組まれている電気自動車普及活動のサポートや政策提言。

APEVの歩み 2013年8月現在

2010年

- 6月29日 設立
- 7月14～16日 第1回EVEX(電気自動車開発技術展) 出展
- 9月4日 愛媛県シンポジウム 講演参加
- 10月29～31日 宙博・EV 出展協力、講演
- 11月5～9日 EVS(Electric Vehicle Symposium-国際電気自動車シンポジウム)
@中国・上海 参加
- 12月17日 APEV東京シンポジウム 開催



2010年12月17日
第1回東京シンポジウム トヨタ自動車株式会社
東京技術部部长 永田雅久氏
「トヨタの環境技術開発戦略について」

2011年

- 4月27日 EVコンバージョンガイドライン発表
- 6月30日 APEV講演会『中国EVビジネスの現状と展望』 開催
- 7月15日 APEV関西シンポジウム @大阪・梅田 開催
- 7月29日 APEV第1期定時総会 開催
- 9月10～11日 APEV地域コンソーシアム部会
@長崎&『長崎EV&ITSプロジェクト視察会in 長崎県・五島列島』
- 10月12～14日 第2回EVEX 共催 *ブース出展及びシンポジウム開催
- 10月27～29日 電気自動車産業展(「トラックショー2011」内) 共催
*ブース出展及びシンポジウム開催
- 11月1日 全国EVサミット in しずおか 共催
- 12月3～11日 東京モーターショーSMART MOBILITY CITY 2011 ブース出展



2011年7月15日
関西シンポジウム 田嶋代表幹事挨拶

2012年

- 1月20～23日 大阪モーターショー 出展
- 3月14～16日 第10回国際オートアフターマーケット 協賛・ブース出展
- 3月27日 2012 Team APEVパイクスピークEVチャレンジ 記者発表会・活動開始
- 4月12日 EV-TAIWAN 協力 @台湾・台北
- 5月25日 フィリピンEVサミットにて「APEVの電気自動車普及活動」発表 @フィリピン・マニラ
- 6月27日 APEV超小型モビリティガイドライン勉強会 開催
(国土交通省自動車局車両安全対策調整官の方をお招きして)
- 7月31日 APEV第2期定時総会 開催
- 8月12日 2012パイクスピークヒルクライム Team APEV 参戦 @アメリカ・コロラド州
- 8月13日 テスラモーターズ本社訪問 @アメリカ・カリフォルニア州
- 9月19～21日 第3回EVEX 共催 *ブース出展及びシンポジウム開催



2012年6月27日
APEV超小型モビリティガイドライン勉強会

2013年

- 1月15日 記者発表会
1) EV超小型モビリティデザインコンテスト 開始
2) 2013 Team APEVパイクスピークEVチャレンジ 開始
- 3月4日 「『移動』のイノベーション」超小型モビリティセミナー(国土交通省) 後援
@埼玉県・さいたま市
- 3月13～15日 第11回国際オートアフターマーケット 後援・ブース出展
- 5月20日 APEV委員会活動・新体制発表
- 6月24～30日 2013パイクスピークヒルクライム Team APEV 参戦・優勝
@アメリカ・コロラド州
- 7月31日 APEV第3期定時総会・委員会開催



2013年3月4日
「『移動』のイノベーション」超小型モビリティ
セミナーで発表

会員一覧 2013年8月末現在

◆ 正会員（企業会員）合計 152

… 海外企業

オートデスク株式会社(米国)、Tesla Motors Japan 株式会社(米国)、テュフ・ラインランド・ジャパン株式会社(ドイツ)、dSPACE Japan株式会社(ドイツ)、ダッソー・システムズ株式会社(フランス)等

… 国内企業

トヨタ自動車株式会社、三菱自動車工業株式会社、ソフトバンクモバイル株式会社、本田技研工業株式会社、株式会社日立製作所、日本郵便株式会社等

◆ 特別会員（自治体、研究機関、報道機関） 合計 105

海外団体

株式会社エヌ・アール・ダブリュー・ジャパン
(ドイツノルトライン・ヴェストファーレン(NRW)州経済振興公社)
エコ環境財団(フィリピン政府系・EV関連団体)
オーストラリア・ビクトリア州 東京事務所
台湾貿易センター
ドリシテ(インド社会企業家団体)
TESDA Technical Education and Skills Development Authority
(フィリピン政府系 技術教育訓練機関)
中国科学院深圳先端技術研究院
Electric Vehicle Technical Institute(米国)
Hawaiian Electric Vehicle Network(米国)



国内団体

北海道苫小牧市	愛知県	岡山県
北海道札幌市西区	愛知県名古屋市	岡山県美作市
北海道新得町	静岡県	鳥取県
	静岡県磐田市	鳥取県米子市
青森県	三重県伊賀市	山口県宇部市
青森県七戸町	三重県津市	
秋田県秋田市	岐阜県高山市	長崎県
山形県	岐阜県大垣市	福岡県北九州市
宮城県石巻市		佐賀県
宮城県栗原市	大阪府	佐賀県佐賀市
	京都府	鹿児島県
茨城県神栖市	京都府南丹市	
栃木県	兵庫県	
埼玉県	兵庫県神戸市	
埼玉県さいたま市		
	香川県	
石川県	香川県土庄町	
石川県金沢市	愛媛県	
福井県越前市	徳島県	
新潟県	徳島県勝浦郡上勝町	



◆ 行政 関東運輸局自動車技術安全部

◆ 賛助会員（個人会員） 合計 108人



最新情報は、都度公式HP (<http://www.apev.jp/news/member.html>) にて更新しております

海外のAPEVの仲間たち

●APEVニュージーランド <http://www.apev.org.nz/>

2011年10月16日に発足し、会員数は約60団体で、Holden NZ、三菱 NZ、NZ Postや大学、研究機関も参加しています。



2012年に行われたオークランドEV EXPOの様子

【会の目的】

EVを普及させて石油消費を減らし、自然エネルギーを活用する

【会の活動】

EV EXPOに協賛(写真参照)

EVコンバージョンガイドライン作り

シンポジウム・講演会

世界のEV情報収集と会員への伝達

EVの試乗斡旋



2013年7月に行われたオークランドEV EXPOの様子

APEVニュージーランドからのメッセージ

ニュージーランドは人口450万人足らずの小さな国ですが、「DIY(Do It Yourself)は我々のDNA」と何でも自分たちで作ってしまう国民性。EV周辺のイノベーションやコンバージョンにも意欲的です。日本、ドイツを始め世界のAPEVとのコラボが楽しみです。

●他国でも只今、発足準備中!

2012年4月
APEV台湾設立準備委員会発足



2012年5月
APEVフィリピン設立準備委員会発足



2013年5月
APEVドイツ設立委員会発足



入会方法とメンバーサイトの紹介

電気自動車の事業化をお考えの法人様、電気自動車業界を支援したい個人の方、ぜひご参加ください。
 詳細は、当会WEBサイトURL <http://www.apev.jp/entry/>をご参照ください。

お申し込みの流れ



メール、郵送の場合の申し込みフォーマットもWEBサイト内に掲載しております。

会員特典メンバーサイト

APEV会員の情報交流のために、メンバーサイトをご用意しております。ぜひご活用ください。
 企業・団体の場合は、1団体あたり3名様に、個人会員の場合は、お1人に1つ、IDとパスワードを発行します。

<http://www.apev.jp/sns/>



メンバーサイト内の一例

- 電気自動車関連主要海外ニュース
 …ほぼデAILYで、海外のEV関係のニュース配信中。
- APEV 講演会や部会の開催のお知らせ
 …委員会の会合のお知らせ、各種展示会のご案内など
- 会員限定でご紹介する、EVコンバージョン教本や各種講演会など
 …会員のみにもパスワード付でお届けします。

【入会メリット】

- ・委員会に出席し情報の収集及び発信ができます。
- ・自社の製品やサービスを会員に対してPRできます。
- ・会員相互のビジネスマッチングができます。
- ・APEVが共催・協賛する展示会に特別料金で共同出展ができます。
- ・APEVが共催・協賛するイベントの情報を入手でき、入場券が割引になります。



2012年EVEXのAPEVパビリオンで共同出展



2012年EVEXのAPEVカンファレンスでTV取材を受ける

業界の垣根を越えた、普及促進のためのつながる活動



APEVが各地で開催する講演会・シンポジウム・勉強会

- 部会 (委員会) 活動 ——— 約2カ月に1回ペース
- EV関係展示会出展 ——— 年5回程度
電気自動車開発技術展 (EVEX)、電気自動車産業展、全国EVサミット in しずおか、東京モーターショー-SMC、国際オートアフターマーケット 等
- 講演会・シンポジウム ——— 東京シンポジウム、関西シンポジウム 等
- 海外展示会、シンポジウムへの参加、参加後国内での報告会開催 ——— EVS (The International Electric Vehicle Symposium) Asia Pacific Clean Energy Summit and EXPO (ハワイ) 等

APEVの委員会活動

APEVの委員会では以下の活動を行っています。

2013年から参加会員が参加しやすく、メリットを実感できるように以下の変更を行いました。

- ▶ 参加会員が一度に両方の委員会に参加できるように、委員会を「技術」と「ビジネス」の2つに発展的に統合し同日に開催します。
- ▶ 参加会員のPR機会を提供しビジネスメリットを最大化するために、委員会での発表機会を提供します。

1.EV技術委員会

- 目的：技術面から世界のEV普及に貢献する
- 活動概要：(1) EVコンバージョンに関する教本の制作・改訂及び普及
(2) EV超小型モビリティガイドライン勉強会
(3) 会員相互の技術情報交換及び展示：会員のみの情報交換会
(4) 国内外の技術情報収集と共有：会員のみの情報交換会及び会員専用SNS
- 組織：[委員長] 草加 浩平 [副委員長] 佐藤 員暢
- 活動実績：(1) 会員相互の技術情報交換を目的に、2カ月に1回程度委員会を開催
(2) EVコンバージョンに関する教本の制作・改訂
(3) 国交省を招いて、超小型モビリティについての勉強会開催 等

2.EVビジネス委員会

- 目的：ビジネス面から世界のEV普及に貢献する
- 活動概要：(1) 会員相互のビジネス情報交換及びマッチング：会員のみの情報交換会
(2) 国内外のビジネス情報収集と共有：会員のみの情報交換会及び会員専用SNS
(3) 各地のEV展示会及び普及活動の共催・後援・協賛
(4) 海外との連携 (APEVニュージーランド、オーストラリア、中国、台湾、フィリピン、ドイツ、アメリカなど)
- 組織：[委員長] 藤原 洋 [副委員長] 有馬 仁志、鈴木 高宏
- 活動実績：(1) 会員相互のビジネス情報交換及びビジネスマッチングを目的に、2カ月に1回程度委員会を開催
(2) 毎年秋開催の電気自動車開発技術展(EVEX)に会員と共同出展 等

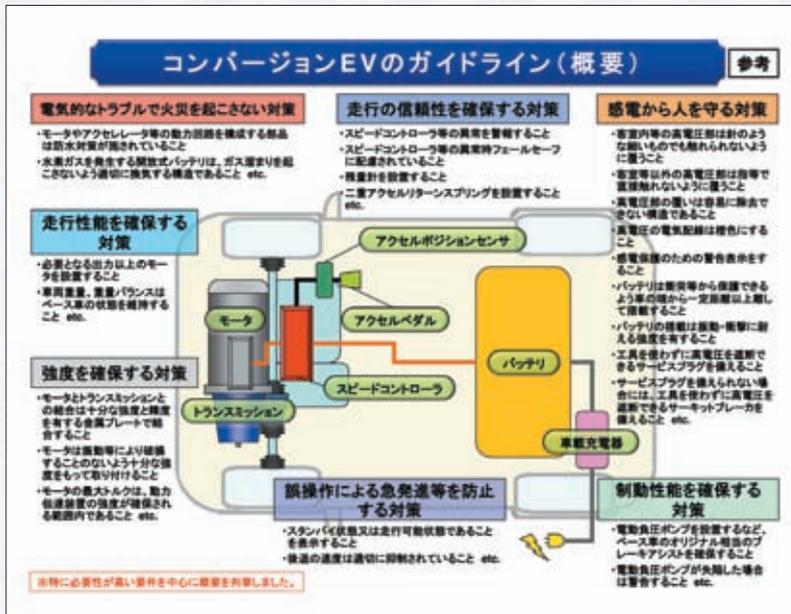
委員会予定 (2013年度)

- ・2013年5月20日(実施済み)
- ・2013年7月31日(実施済み)
- ・2013年9月下旬：EVEXにおける展示会とシンポジウム
- ・2013年12月
- ・2014年2月

EVコンバージョンガイドライン

- 2011年4月 世界初、「EVコンバージョンの安全基準 (ガイドライン)」を策定。国土交通省と同時に発表しました。

〈ご参考〉 <http://www.apev.jp/guide/> からご覧いただけます。



- 英語版もあります。今後、世界へ普及させていくことを目指します。

- 2011年10月 「EVコンバージョンのガイドライン教本」(初版) 完成。

- 会員限定でHP上にて公開しています。
- 現在、改造EVの製作について、現場で携わる皆さんからの意見、フィードバックをもとに改訂中。



作業部会の様子

APEV発足の翌月より月1~2回以上のペースで作業部会を開催し、EVコンバージョンのガイドラインを策定しました。



APEV主催イベント

電気自動車開発技術展 (EVEX) 2012年9月19日 東京ビッグサイトにて



APEVパビリオンで共同出展



APEVカンファレンスで発表と討議

関西EVイノベーション・ネットワーク会議 2013年5月23日 株式会社内田洋行オフィスにて



全体会の様子



グループディスカッションの様子

長崎EV&ITSプロジェクト視察会 2011年9月10日～11日 長崎県五島列島

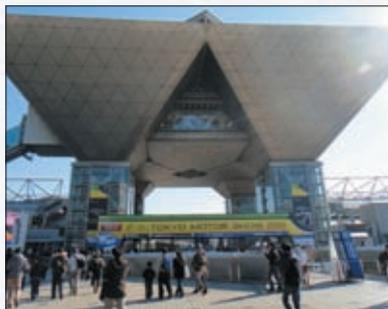
〈ご参考〉 <http://www.ap-ev.jp/aboutus/press/APEV-PressRelease20110922.pdf>



その他にも、東北シンポジウム、名古屋シンポジウム等、多数開催しています。

EV関係展示会への出展

東京モーターショー SMART MOBILITY CITY 東京ビッグサイト

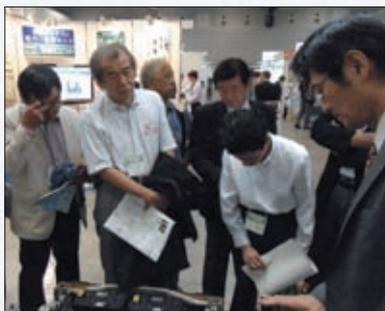


大阪モーターショー インテックス大阪



EVEX (電気自動車開発技術展) ※共催

- 第1回 2010年 7月14日～16日 パシフィコ横浜
- 第2回 2011年10月12日～14日 パシフィコ横浜
- 第3回 2012年 9月19日～21日 東京ビッグサイト
- 第4回 2013年 9月25日～27日 東京ビッグサイト



電気自動車産業展 トラックショー2011内 ※共催 2011年10月27日～29日 東京ビッグサイト



EV超小型モビリティデザインコンテスト

コンセプト

昨今、超小型モビリティに関する行政の動きが注目され、民間でも種々の試みがなされています。当協議会としても、普及活動の一環として、次世代を担う学生に、モノ作りの楽しさとワクワク感を体験してもらう機会を提供しています。2013年を活動元年として、2014年以降も当コンテストを継続開催し、デザイン→設計→実車製作までを視野に入れた活動を予定しています。



募集対象と参加校

日本及び海外の学校の学生(18歳以上)2人以上のチームを募集し、1次審査を通過したのは19校27チーム(日本国内16校24チーム、海外3カ国3校3チーム)でした。

審査方法

- 1) 1次審査: 実際の使用シーンを含めた車両コンセプト+アイディアスケッチ
- 2) 最終審査: 1次審査に合格した物をCADを使って3次元デザインする

日程

公式発表	2013年 1月15日(火)
参加チーム募集締め切り	2013年 5月 8日(水)
1次審査参加作品締め切り	2013年 6月28日(金)
1次審査結果発表	2013年 7月10日(水)
最終審査作品締め切り	2013年 9月27日(金)
最終結果発表	2013年10月11日(金)
東京モーターショー SMART MOBILITY CITY 2013で表彰式及びカンファレンス	2013年11月末(予定)
APEV主催の「超小型モビリティ普及促進&学生デザインコンテスト結果報告」シンポジウム	2014年3月初旬(予定)

*日程は変更の可能性があります。

審査委員

- ◆審査委員長 奥山 清行 様(工業デザイナー・KEN OKUYAMA DESIGN 代表)
- ◆審査委員 安藤 忠雄 様(建築家・東京大学名誉教授)
- 織作 峰子 様(写真家・大阪芸術大学写真学科教授)
- 河口 洋一郎 様(東京大学大学院 情報学環教授・CGアーティスト)
- 藤本 彰 様(カースタイリング出版 代表)
- 田嶋 伸博(電気自動車普及協議会 代表幹事)

賞品 ユニークな賞品

優秀作品チームに対して、「電気自動車(EV)に関する特別な体験」を提供

- 例) ・著名なデザイナーとの交流機会
 ・ハワイなど海外の環境エネルギー関連展示会への招待&発表機会
 ・海外EV企業・団体訪問及び交流 等

後援・協賛

後援: 経済産業省、国土交通省、東京大学大学院情報学環、ダッソー・システムズ

協賛: 株式会社ストラタシス・ジャパン、株式会社ベネッセホールディングス、株式会社ワコム、デル株式会社、

日産自動車株式会社、日本ヒューレット・パッカード株式会社、レノボ・ジャパン株式会社、株式会社アスプロス

豊島モビリティプロジェクト

コンセプト

本事業は、香川県豊島へ来島する観光客へ超小型モビリティを有償でレンタルし、豊島の観光資源の価値を向上させるとともに、潜在的な観光客を獲得することを目的としています。「瀬戸内国際芸術祭2013」(<http://setouchi-artfest.jp/>)夏の会期のスタートである2013年7月20日より開始され、現代アートを楽しむ顧客に大人気のレンタカーとなっています。(2013年7月末現在の稼働率91.6%を記録)



実証実験概要

- ① **内容** 6台の超小型モビリティを、豊島に来島する観光客などにレンタカーとして貸し出し、島内の交通手段として活用してもらいます。島内には、超小型モビリティの充電のために、「ユビ電」に対応した充電スタンド「ユビ電スタンド」を2カ所設置します。

事前予約&決済専用サイト <http://resv.jp/ubiden/>

- ② **超小型モビリティ利用料金** 8,400円/日(税込、充電料金含む)
- ③ **実施期間** 2013年7月20日～2014年3月31日(予定)
- ④ **設置する超小型モビリティ** NISSAN New Mobility Concept

組織

実施主体：「豊島(てしま)モビリティ協議会」(所在地:香川県小豆郡土庄町、代表:岡田 好平)

構成団体：(1)土庄町(香川県小豆郡、町長:岡田 好平)

(2)ソフトバンクモバイル株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO:孫 正義)

(3)株式会社ベネッセホールディングス(本社:岡山県岡山市、代表取締役社長:福島 保)

(4)電気自動車普及協議会(所在地:東京都新宿区、会長:福武 総一郎)

*本実証実験は、国土交通省の「超小型モビリティの導入促進事業」の支援案件として行います。



ハワイプロジェクト

コンセプト

「ハワイを環境と観光の先進地に」ハワイ州マウイ島では、再生可能エネルギーとして、風力発電を中心にバイオマスや太陽光発電などの導入が進んでおり、2030年には島内の全体発電量の40%が再生可能エネルギーに置き換わる予定です。APEVもこの活動に賛同し、次世代エネルギー開発の動きと同時に、EVの普及支援活動をハワイ州政府と共同で行っています。



マウイ島での急速充電器の設置活動の様子



ハワイ州政府とも強力な連携体制を構築
アバクロンビー知事とともに現地でのEV普及活動を
推進する福武会長・田嶋代表幹事

活動概要

2013年9月にハワイで行われた「Asia Pacific Clean Energy Summit and EXPO」で、APEVの福武会長・田嶋代表幹事が講演を行いました。また、会場にはパイクスピーク参戦車「E-Runner」やテスラ社のモデルSなどの最新EVを展示。現地の小学校で、EVを活用した環境学習の授業も行いました。

組織

- ・ハワイ州政府
- ・NEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)
- ・日立製作所(APEV会員)
- ・APEV など

富士山EVフェスタ

コンセプト

「2013年世界遺産に登録された富士山を拠点に、多くの自動車会社や部品会社、そしてそれらの技術が集積する静岡県で、次世代の自動車の姿を提案し、皆様にも考えて頂く機会を設けたい」という考えから、2013年8月1日に静岡県主催による、EVでの富士山パレードならびに富士山麓でのEVフェスタが開催されました。

概要

日時：2013年8月1日(木) 10:00～16:00
会場：富士山スカイライン(主会場:水ヶ塚駐車場(静岡県裾野市))
主催：静岡県、(公財)静岡県産業振興財団
後援：経済産業省関東経済産業局、国土交通省中部運輸局、電気自動車普及協議会

パレード行程

開会式会場の水ヶ塚駐車場(富士山二号目)を出発し、五合目までを目指す、標高差900m、約16kmの道のりでした。また、パレードには、23台の電気自動車、5台のプラグインハイブリッド車、2台の燃料電池車、4台の電動バイクが参加しました。



当日のイベントの様子



TEAM APEV
PIKES PEAK CHALLENGE

パイクスピーク・ヒルクライム決勝レポート

競争激化のEVクラスで TEAM APEV が劇的優勝！

世界最高峰の自動車レース「第91回 パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム(2013年6月24日～6月30日 米国コロラド州コロラドスプリングス)」へ、昨年に続き TEAM APEV with モンスタースポーツ として参戦しました。これは実戦レースを通じてのEV技術の早期向上と、世界でのより一層のEV普及を目的としたものです。チーム総監督はAPEV会長の福武総一郎が、ドライバーはAPEV代表幹事であり、同大会6年連続チャンピオンの田嶋伸博が務めました。

今大会はEV部門の競争が激しくなり、まさに各チームのEV技術を互いに切磋琢磨する場となりました。大手自動車メーカーがレースに参戦した他、北欧のラトビアからは国家プロジェクトを組んだ参戦があるなど、EV普及に向けた大きな流れが生まれつつあることを感じます。そのような中、TEAM APEVは予選3位から劇的な優勝(EV部門/総合でも5位入賞)を飾りました。また記録上でも、ドライバー田嶋伸博自身が2011年にガソリンエンジン車で達成した当時の世界記録を更新し、EVで初めて10分を切るなどEV技術の進歩を強く印象付けました。

沢山のご声援・ご支援をいただきまして、ありがとうございました。



詳細は、パイクスピークEVチャレンジ実行委員会公式HPをご覧ください。 <http://www.apev.jp/teamapev/>

電気自動車普及協議会

事務局長：椎木 衛 (シイキ マモル) ・事務局次長：田中 郁子 (タナカ イクコ)

公式Website

<http://www.apev.jp/>

お問い合わせ先メールアドレス

info@apev.jp

お問い合わせ先

事務局：安嶋 言一郎 (ヤスジマ ゲンイチロウ)

住所：〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-10-1 日土地西新宿ビル8F

電話：050-3736-8325